

歯科専門体験実習

コーディネーター：口腔顎顔面再建学講座（歯科麻酔学分野） 城茂治教授

第2学年 前期

前期 講義 6.0時間 実習 36.0時間

教育成果（アウトカム）

本学附属病院歯科医療センターおよび開業歯科医院での体験を通して知識、技能、態度を学び、歯科医療の概要を理解するとともにチームの一員として歯科医師の果たすべき役割ととるべき態度を修得する。また、本学統合基礎講座での体験を通して知識、技能、態度を学び、基礎研究が歯科医療に果たす役割について理解する。

事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月26日(火) 3、4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 城茂治教授 (歯科麻酔学)	歯科疾患と治療法 口腔・顎顔面領域の診察、検査、診断および予防を行うために必要な基本的な知識、態度を身につける。 (矢巾キャンパス西 1-F 講義室)	1. 歯科専門体験実習の目的を説明できる。 2. 歯科専門体験実習に必要な身だしなみを説明、実施できる。 3. 患者に接するときの心構えを説明する。 4. 良医の条件を説明する。 5. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。 6. 診断に必要な診査法を列挙する。 7. 診断の方法を説明する。 8. 医療情報の収集法を説明する。 9. 医療面接の目的と方法を説明する。 10. 主訴、現病歴、既往歴等の定義を説明する。
9月3日(木) 3、4限	城茂治教授 (歯科麻酔学) 工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯科専門体験について 歯科専門体験実習の目的、実施要項を理解する。 (矢巾キャンパス西 1-F 講義室)	1. 歯科専門体験実習の目的を説明できる。 2. 歯科専門体験実習に必要な身だしなみを説明、実施できる。 3. 歯科専門体験実習のスケジュールを説明できる。

歯科専門体験実習事前実習

月 日	到達 目 標
6月18日(木) 1限～4限 (内丸 歯科医療センター)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介ができる。 2. 担当歯科医師・スタッフとコミュニケーションがとれる。 3. 担当歯科医師・スタッフ・患者に挨拶ができる。 4. 担当歯科医師・スタッフの指導のもとに患者に対応できる。 5. 治療前の準備について説明できる。 6. 治療中の患者への配慮ができる。 7. 治療後の患者への配慮ができる。 8. 各職種の仕事の役割を説明できる。 9. 各種治療の流れを説明できる。 10. 治療用機器の名称を列挙できる。

歯科専門体験実習

月 日	到達 目 標
9月4日(金) ～ 9月10日(木)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介ができる。 2. 担当歯科医師 (院長)・スタッフとコミュニケーションがとれる。 3. 担当歯科医師 (院長)・スタッフ・患者に挨拶ができる。 4. 担当歯科医師 (院長)・スタッフの指導のもとに患者に対応できる。 5. 治療前の準備について説明できる。 6. 治療中の患者様への配慮ができる。 7. 治療後の患者様への配慮ができる。 8. 各職種の仕事の役割を説明できる。 9. 各種治療の流れを説明できる。 10. 治療用機器の名称を列挙できる。

オリエンテーション等の日程

- ・事前実習オリエンテーション：5月26日（火）4限（矢巾キャンパス）
- ・事前実習発表会：6月18日（木）（内丸キャンパス）※グループ発表
- ・オリエンテーション：9月3日（木）3、4限（矢巾キャンパス）
- ・発表会：9月10日（木）1～4限目（矢巾キャンパス）※個人発表

成績評価方法

体験実習の出席（発表会、講義、オリエンテーション含む）及び各施設の担当指導者による実習評価表および体験実習レポートで評価する。（実習評価 60%、レポート 40%）
--

* 詳細については別に示す。

オフィスアワー

氏 名	方式	曜日	時間帯	備 考
城 茂治	B-i	月～土	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。
工藤義之	B-i	月～土	随時	不在の時は教室員に伝言のこと。

授業に使用する機械・器具と使用目的

[歯科専門体験実習]

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
液晶テレビ	LC52G7	1	視聴覚用機器	資料提示・研究データ提示
ディスプレイスタンド	PH950	1	視聴覚用機器	資料提示・研究データ提示